

「この本がぼくの世界を広げてくれた！」



この少年は、小学5年生の・山村悌公（やまむらともき）くんです。魚が大好きで、家でも海水魚を飼育しています。

去年の夏、悌公くんはいつも利用している図書館の児童特集コーナーでこの本を見つけました。

東日本大震災直後、魚たちがいなくなった岩手県宮古湾の海の底で、作者が出会ったのはたった1匹のダンゴウオ。

その生きるチカラに感動した悌公くんは、「海にいるダンゴウオに会いたい!」と思い、『探偵! ナイトスクープ』（朝日放送テレビ）という番組へ「一緒に探してください」と依頼しました。

なんとこの依頼が採用され、春休みのある日、石田靖探偵が悌公くんの家にやってきたのです!

この本の作者である鍵井靖章さん、実は石田探偵の友人でした。

石田探偵が鍵井さんに電話で聞くと、「この時期なら鳥取の海にいるのでは…」とのこと。

さらに鍵井さんは続けます。「海の中はとっても寒いんだよ」「冷たい海に潜ったらきっと後悔することになるよ」

しかし、どうしてもダンゴウオに会いたい悌公くんは、石田探偵とともに鍵井さんの待つ鳥取へ向かいました。

さて、悌公くんは海に潜るのでしょうか。

そして、夢をかなえることができるのでしょうか。

●この様子は、関西方面では5月11日（金）に放送されました。静岡での放送は、6月13日（水）深夜0時50分からの予定です。

この本の情報：『ダンゴウオの海』 鍵井靖章／写真・文 フレーベル館 2015年

※この記事の掲載については、保護者の方および関係各所の許可をいただいています。その後の悌公くんについては、来月報告予定です。